

平成20年度広島県支部総会

日時 平成21年2月22日(日)

場所 ホテルセンチュリー21 広島

平成20年度広島県支部総会が今年度で40回を数えるに至りました。

県出身の先達の先輩方々に深く敬意と感謝を顯すところであります。

今回30名の参加で盛会裡に開催される運びとなりました。開会にあたり篠原明紀会員(V昭33卒)と野村正則会員(V昭50卒)のご逝去に対し慎んで黙禱を捧げご冥福をお祈りしました。市場強支部長(V昭34卒)の挨拶では麻布獣医学会、中国ブロック会議で後回り、麻布大学の「卒業生子女特別入学選抜」の新設について要請等について報告がされました。総会議長は野田政昭氏(V昭42卒)が指名され議事に入りました。例年通り議事録作成、署名人2名が指名されスムーズな進行のもと承認可決がされて行きました。

その他会費納入について意見が出され、納入しない人への対応を個々に電話等で督促して行くことが申し合わされました。名簿作成については返信ハガキで公表、記載の有無を問うこととなりました。引き続き特別講演は政岡俊夫学長にお願いし、「麻布大学の近況等について」をテーマに約50分余のお話を賜りました。大学入試状況、卒業生の子弟枠の問題は今検討中であり、H21、22年度受験希望者の調査をしていく同窓会員も大学入試の制度情報を集めて積極的にコミュニケーションをとってほしい。同窓会に対し、大学情報をどんどんPRしていきたい。今獣医学が変革期にきている。麻布大学の単科大学として生き残りは同窓会の支援が不可欠である。そして来年度は法人、大学、評議員の選挙の年となる。大学祭が同窓会の応援、特別講演で盛り上がりを見せている。同窓会名簿が2007年で発刊最後となるかもしれない。以上聞きながら時代の変遷を垣間見た思いでありました。

総会閉会の挨拶謝辞を河原田圭三副支部長(V昭36卒)がされて、次の記念撮影をして懇親会へと移動した。進行は田中啓一代表幹事(V昭47卒)が進行され、市場支部長そして白石政美同窓会本部副会長(V昭58卒)の挨拶、荒谷簡萬顧問(V昭19卒)の乾杯で幕を開け和気藹々として盛り上がり、同士魂を確認した時間でありました。徳本静代氏(V昭40卒)の中締で散会した。

事務局長 前田茂(V昭46卒)